

## ヤマブドウとアンチエイジング

東京農工大学農学部附属硬蛋白質利用研究施設 准教授 野村義宏

ヤマブドウ (*Vitis coignetiae*) 搾りかすの抽出物 (エビノール) には、ポリフェノールが 60% 以上含まれており、その半分程度はプロシアニジンである。プロシアニジンは、ブドウ種子抽出物などからも抽出されるカテキンの重合体であり、最近その健康機能が注目されている。

農工大・硬蛋研では皮膚の老化に関する研究を行っており、各種抗酸化物質が光老化を抑制する事を報告している。皮膚の老化は紫外線暴露によるものが主であり、'シミ' や 'しわ' は皮膚の生体防御反応の現れである。機能性食品の中でも抗酸化効果のあるものを含んでいるものもあり、非常に関心が高まっている。

そこで、本研究では皮膚老化のモデルである紫外線照射した毛のないモデルマウスを用いて、ヤマブドウポリフェノール (エビノール) の投与が光老化皮膚に与える影響について検討した。6 週齢の雄ヘアレスマウスに 8 週間紫外線照射を施しながら 1 日 1 回ヤマブドウポリフェノールを与えた。全 8 週に渡り背部皮膚の水分量、粘弾性を経時的に測定した。解剖後、背部皮膚組織標本から表皮厚を測定した。その結果、ヤマブドウポリフェノール投与により、シワの改善、表皮厚の軽減、皮膚水分量に有意な差が認められ、皮膚状態改善傾向を示した。ヤマブドウポリフェノール投与により、光老化皮膚状態の改善が促進したと考えられる。

